

平成 29 年度 再評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	淀川水系石澄川才の本川砂防事業
担当部署	都市整備部河川室河川環境課砂防グループ（連絡先 06 - 6944 - 9302）
事業箇所	池田市畑三丁目
再評価理由	事業採択後 10 年継続中
目的	都市に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。
内容	砂防堰堤工 1 基 堤高 12.0m (12.0m) 堤長 36.0m (36.0m)
事業費 () 内の数値は 計画時点(又は前回 評価時点)のもの	全体事業費：約 3.5 億円 (約 3.5 億円) (国：1.75 億円、府：1.75 億円) 【工事費の内訳】 (内訳) 調査費等約 0.4 億円 (約 0.4 億円) 用地費 約 0.17 億円 (約 0.17 億円) えん堤工 約 2.93 億円 (約 2.93 億円) 工事費 約 2.93 億円 (約 2.93 億円)
事業費の変更理由	【事業費変動要因の状況】 － 【他事業者との協議状況】 －
維持管理費	必要なし

2 事業の必要性等に関する視点

	【事前評価時点 H19】	【再評価時点 H29】	【変動要因の分析】
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	○災害発生の危険度 人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を行い土石流等の土砂災害に備える。 ○保全対象 人家戸数 285 戸 広域避難地 1 施設 府道箕面池田線 250m	○左記に同じ	
地元等の 協力体制等	防災事業として認識されており、事業に対する協力を得ている。	工事の円滑な進捗に向け、工事進入路の借地等、事業協力を頂いている。	

	【事前評価時点 H19】	【再評価時点 H29】	【変動要因の分析】
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	[効果項目] 人命保護 家屋被害軽減 公共・公益施設被害軽減 [分析結果] ・ B/C=38.69 B=123.43 C=3.19 [算出方法] 国土交通省河川局砂防部 「土石流対策事業の費用 便益分析マニュアル」 (平成 12 年 2 月) [受益者] 土石流危険溪流被害想定 区域内住民及び施設管理 者	[効果項目] 先に同じ [分析結果] ・ B/C=35.80 B=121.35 C=3.39 [算出方法] 国土交通省水管理・国土保 全局砂防部「砂防事業の費 用便益分析マニュアル」 (平成 24 年 3 月) [受益者] 土砂災害警戒区域内住民 及び施設管理者	算出シート様式変更による
事業効果の 定性的分析 (安心・安全、活力、 快適性等の有効性)	[効果項目] 対策施設の整備により 土石流危険溪流の安全性 が飛躍的に向上する [受益者] 人家・避難所等の保全	[効果項目] 左記に同じ [受益者] 左記に同じ	
事業の進捗状況 <経過> ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③完成予定年度	①平成 20 年度 ②平成 20 年度 ③平成 24 年度	①平成 20 年度 ②平成 20 年度 ③平成 31 年度	
<進捗状況>		・全体 37% (1.33 億円/3.50 億円) ・用地 100% (0.17 億円/0.17 億円) ・工事 34% (1.16 億円/3.33 億円)	

事業の必要性等に関する視点における判定（案）	当該溪流の氾濫区域内に存する人家・広域避難所などの保全対象施設を未然に土石流から守る手法として、砂防えん堤の整備の必要性については変化がないため継続する。
------------------------	---

3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点における判定（案）	工事の進捗は順調であり、平成 31 年度の完成を予定している。 以上のことから、本事業を継続する。
-----------------------	--

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点における判定（案）	本溪流において土砂災害の被害を防ぐためには、砂防えん堤による対策以外に無いため、継続する。
------------------------------	---

5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	砂防えん堤の施工において樹木の伐採を伴うが、その範囲を最小限に止め、自然環境への影響を極力軽減する。 また、砂防えん堤が完成すれば、溪床・溪岸の浸食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。
前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—
その他	【上位計画】 「大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版」（H28.3）

6 評価結果

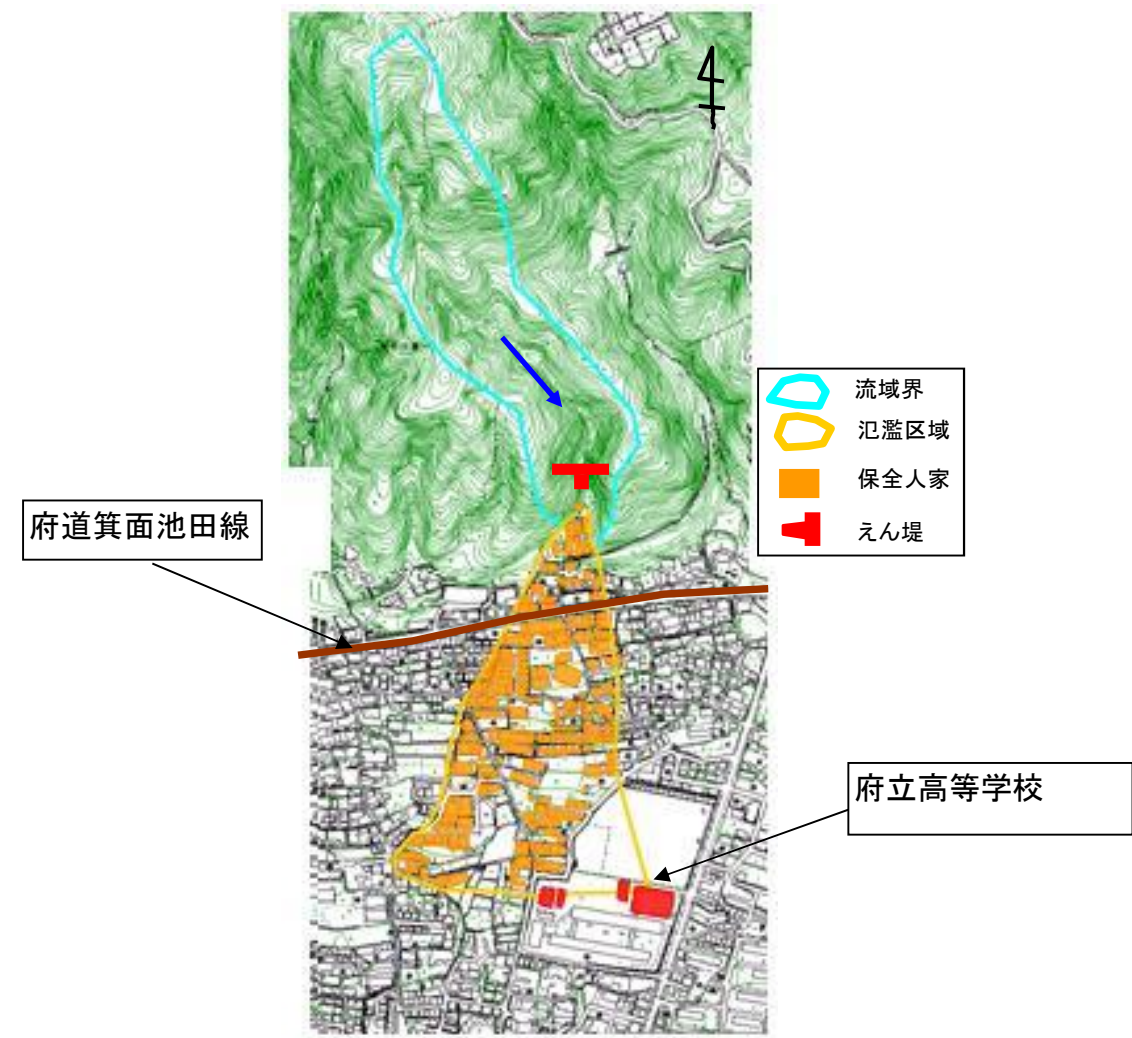
評価結果	○事業継続 <判断の理由> 当初の計画より進捗は遅れているが、工事の進捗は順調であり、平成 31 年度の完成を予定している。また、事業の必要性については変化がないことから、継続する。
------	---

淀川水系石澄川才の木川砂防事業概要図

事業箇所図



平面図



現況写真



溪流の状況



保全対象：渋谷高校（広域避難所）

標準断面図

